

英語科における少人数制の指導法の工夫

足利市立西中学校
”

手塚 多美江
畔 上 敏 江

1 はじめに

これからますます進む国際社会を生きる人材を育てるために、世界には様々な文化や習慣を持った民族が、お互いを尊重しながら共に生きていることを知らなければならない。

その手段のひとつにALTとのTEAM TEACHINGがあげられる。ALTを通して彼らの国を知り、異文化に触れることができる。そして、西中では、より積極的なコミュニケーションを彼らと図れるように少人数制の授業の展開を試みてみた。

2 研究内容

- (1) 少人数制の指導法の工夫
- (2) 評価の工夫

3 研究の実際

- (1) 少人数制の指導法の工夫

1年生 週3時間中2時間少人数制(18名)、1時間一斉授業(36名)

2年生 週3時間すべて一斉授業(40名)

3年生 週3時間すべて少人数制授業(20名)

<少人数制授業時>

- ・毎時間、教師対生徒、1対1で、英語の1問1答を全員と行い既習事項の確認と会話の時間を確保したり、全員の発言を図った。
- ・ページを決めて、2人1組となり教科書の暗記をし、基本文型の習得と、発音や抑揚のチェック、そして、人前で堂々と発表する態度の育成を目指した。

<一斉授業時>

- ・ALTの審査によるSPEAKING TESTを行った。あらかじめ英文を生徒に渡し、その内容についての質問に答えるものである。準備室で控え、T・Tで実施し、終わった生徒から教室で課題をやるようにし、各教室には教師が1名ずつついて監督に当たった。(参考資料1)
- ・週1時間の一斉授業では、1つの教室に3名の教師が存在することとなり、それぞれが1つつゲームなどを準備し、1時間の活動の中に、聞く、話す、読む、書くの4技能が組み込まれるようにした。

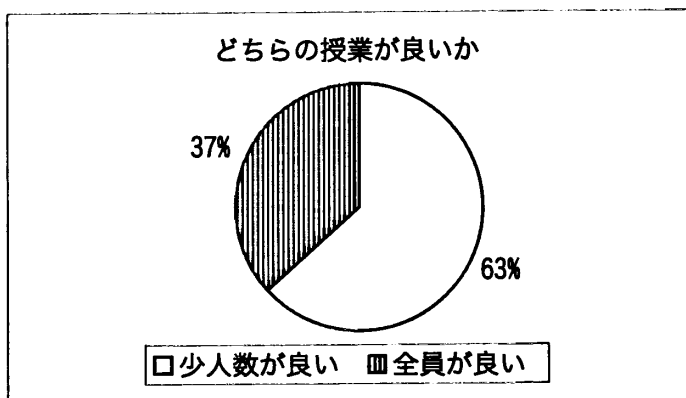
<アンケート集計結果>

①どちらの授業が良いか

- | | |
|---------------|---------------|
| 少人数制授業が良い 63% | 全員一斉授業が良い 37% |
| ・うるさくならない | ・ゲームの時競争心がわく |

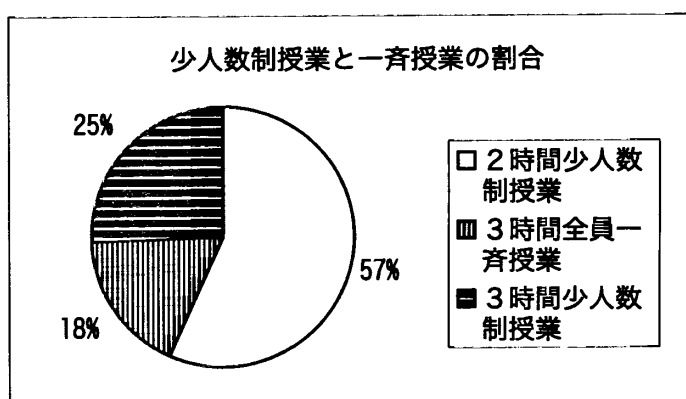
- ・先生が全員を見てくれる
- ・説明がよく聞こえる
- ・字がよく見える
- ・たくさん指される
- ・質問しやすい

- ・楽しい
- ・クラスの中で進度がそろろう



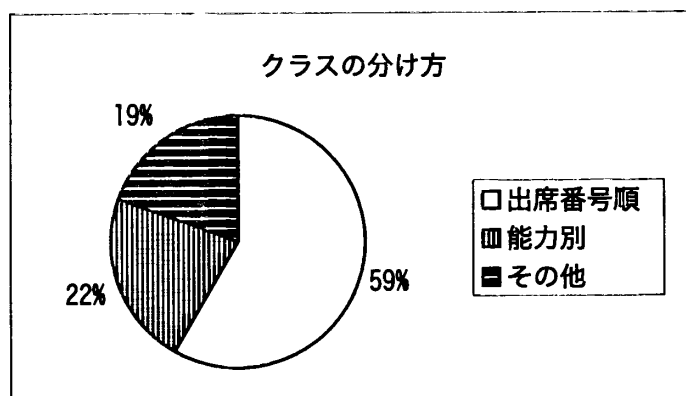
②少人数制授業と一斉授業の割合

- 2時間少人数制授業 57%
- 3時間全員一斉授業 25%
- 3時間少人数制授業 18%



③クラスの分け方

- ・出席番号順 59%
- ・能力別 22%
- ・その他 19%



(2) 評価の工夫

- ・より多くの目で評価できるように、各学期半ばで生徒を入れ替えた。
- ・SPEAKING TEST作りやワークシート作りをALTにも協力してもらいSPEAKING TESTは表現の能力で評価するなど、評価項目作成にも参加してもらった。(参考資料1)
- ・授業への関心・意欲を高めるために、発言のたびにカードを配り、月ごとに集計し、関心・意欲・態度で評価した。(参考資料2)
- ・単語調べ、単語テスト、リスニングテスト、小テストは共通のものを作成し回数も合わせた。(参考資料3)
- ・年5回の定期テストは観点別に作成した。(参考資料4)
- ・各活動をすべて観点別に分けて評価した。(参考資料5)

4 成果と今後の課題

少人数に分けることにより、ほぼ生徒全員の発言と、英語での問答が可能になった。アンケート集計結果からも分かるように、落ち着いた授業と、教師の目が行き届くことは、生徒にもよく伝わる場所となった。そのため、前半25分、後半25分ずつALTに教室を移動してもらってT・T授業を試みた。しかし、時間内に活動が終わらなかつたり問題点が生じた。また少人数制授業時にT・T授業も試みたが盛り上がり欠ける面も見られた。このことから、生徒にとっては楽しさやにぎやかさがある一斉授業も必要であることが分かり、3時間中1時間一斉授業を取り入れる方法が望ましいと感じられた。一方、教師側では綿密な打ち合わせ必要だった。そして、週1時間は教科書からはなれた言語活動のため、進度が遅れがちであった。今後は年計の見直しと活動内容の見直しをし、より効果的な少人数制授業を研究していきたい。

(参考資料 1)

3年 全クラス 明日の英語の時間にこのテストを行い結果を予想してみたい。
English Speaking Test Pre-Studying Sheet ★テストの順番は、抽せんでの決め
 英語スピーキングテスト準備シート スコト先生とセッション 先生が読んでみる。

English Speaking Test Evaluation Sheet

テスト実施日：平成14年10月31日(木)

3年()組()番 氏名()
 NAME < >

はじめに 問題は2種類です 1 絵を見て答える問題
 2 あなた自身のことについて答える問題
 テスト時間は2分です ・ ALTの先生の質問が聞き取れない場合は2回まで聞き返しができます。それ以降は、次の問題に進みます。
 聞き返しの例
 ・ I beg your pardon? (何ノ? 2ア ノドラン
 ・ Pardon me? ノドランニ
 ・ Would you say it once again? ムジジニ セイ イト ワス アゲン
 質問に対し15秒以内に返答してください。
 15秒で次の質問に進みます。

この下は先生が記入します。何も書かないで下さい。

	3	2	1	0	Score
Question 1 Picture	A	B	C	D	
Question 2 Picture	A	B	C	D	
Question 3 No< >	A	B	C	D	
Question 4 No< >	A	B	C	D	
Question 5 No< >	A	B	C	D	
	TOTAL SCORE				

ALT's Sign _____

問題の実例
 1 次の絵に関する問題が2つ出されます。

質問の例
 How many ~s are there in the picture?
 What is ~ doing now?
 Who is taking a picture?

答えの例

There are five ~s.
 He / She is ~ing ~.
 ~ is ~.

- 2 あなた自身のことについて身近なことを聞きます。以下の10題から3題です。
- What is your favorite food / sport / music / subject?
 - How long have you / lived in Ashitaga / studied English?
 - How many times have you been to Tokyo?
 - Do you have any brothers or sisters? How many brothers or sisters do you have?
 - When is your birthday?
 - What do you like to do?
 - How do you come to school?
 - How do you spend your free time?
 - Which season do you like the best? And why?
 - Which do you like better, Kyoto or Osaka? And why?



POINTS

(参考資料 2)

1-4

NAME _____

Shopping (10)	ポイント (10)	出席簿 (10)	傘 (10)	Friend (10)	ピエモン (10)	Be Surprised (10)	New Crown (10)	Hello (10)
ポイント (10)	ワンアイロー (10)	Ms. Azegami (10)	Poo (10)	Poo (10)	I love you (10)	I love you (10)	I love you (10)	I love you (10)
I love you (10)	I love you (10)							
				DECEMBER				

Lesson 1 20点

(参考資料 3)

Words Test Lesson 1 30点

()年()組()番 氏名()
 隠されている10個の単語を隠して意味も書きましょう。

()年()組()番 氏名()

b	l	v	n	s	e	r	v	h	o
y	t	m	n	i	d	f	x	l	e
z	m	o	r	c	g	l	q	v	
a	v	k	c	e	g	e	h	f	u
s	b	r	o	t	h	e	r	i	j
t	c	l	e	s	s	o	n	u	k
j	b	x	h	i	o	t	l	o	p
a	u	r	y	s	p	a	u	m	t
r	s	n	o	d	t	h	y	q	i
t	p	q	x	s	v	t	h	i	s



- | | | | |
|----------|--------|----------|-------|
| 隠されている単語 | 意味 | 隠されている単語 | 意味 |
| ○ _____ | (兄弟) | ○ _____ | (課) |
| ○ _____ | (蜘蛛) | ○ _____ | (そばは) |
| ○ _____ | (にんじほ) | ○ _____ | (おみ) |
| ○ _____ | (やあ) | ○ _____ | (ごみ) |
| ○ _____ | (部屋) | ○ _____ | (きん) |

- バラバラになっているスペルを並べかえて正しい単語にして、意味も書いてみましょう。
- seonsl - _____ ()
 - si - _____ ()
 - sith - _____ ()
 - in - _____ ()
 - moro - _____ ()
 - neci - _____ ()
 - ton - _____ ()
 - bherott - _____ ()
 - rumcoetp - _____ ()
 - ttah - _____ ()
 - holle - _____ ()
 - ti - _____ ()
 - oen - _____ ()
 - esy - _____ ()
 - sriets - _____ ()

(参考資料4)

聴解の能力・リスニング問題

1 (1) (2) (3) 2 (1) (2)

3 (1) (2) (3) 4 (1) (2)

聴解の能力

5 (1) (2) (3) (4) (5)

6 (1) (2) (3) (4) (5)

読解の能力

7 (1) (2) (3) (4) (5)

8 (1) (2) (3)
(4) (5)

9 (1) (2) (3) (4) (5)

10 (1) (), () () me.
(2) (), ().
(3) () a ().
(4) (), () () me.
() is () ().

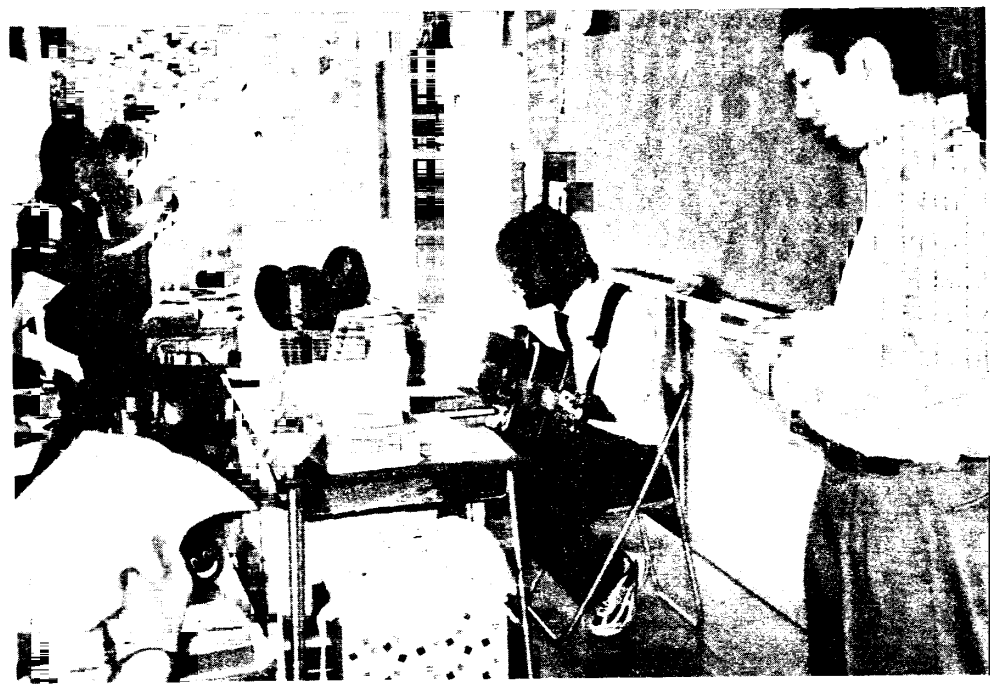
11 (1) This () () () ghost.
(2) () is () () dog.
(3) () your bike () () ?
(4) I () ().
(5) () is () you.

12 (1) _____
(2) _____
(3) _____
(4) _____
(5) _____

1年()組()番 名前()

聴解の能力 1・2・3・4・5・6	読解の能力 7・8・9・10・11・12	合計

(授業風景)



(参考資料 5)

NO	氏名	発音カード				Les 4	中間テスト	Les 4	英語ワーク	クエスチョンシート	音読	Les 4	英語ワーク	合計	評価
		7月	9月	10月	11月	単語調べ	練習	単語調べ	練習	単語調べ	練習	単語調べ	練習		
1		5	33	13	X	9	25	1	5	12	X	X	X	102	A
2		18	43	14	X		30	X	5	4	5	X	X	129	A
3		48	27	28	X		27	X	X	X	5	1	X	136	A
4		50	26	40	X	5	20	X	8	X	12	5	X	166	A
5		50	20			1	1	10	X	X	12	5	X	99	B

NO	氏名	Les 4			Les 5			合計	評価	
		暗記	自己紹介文	夏トレテスト	暗写テスト	中間テスト	期末テスト			
1		5	5	3	35	15	34	21	118	A
2		5	4	4	34	17	33	16	113	A
3		5	4	3	16	10	18	16	72	B
4		5		4	29	18	30	20	106	A
5		4		4	4	5	7	10	34	C

NO	氏名	Les 4		Les 5		中間	期末	合計	評価	
		日本語訳	日本語訳	夏トレテスト	リスニングテスト					
1		5		58	10	10	28	37	158	A
2		5		38	10	9	26	38	136	A
3		5		16	9	10	4	21	65	B
4		5	X	10	X		27	40	97	B
5		5		20	10	10	24	36	115	A

NO	氏名	Les 4		Les 5		期末テスト	合計	評価	
		ケニアについて	単語テスト	単語テスト	単語テスト				
1		3	20	28	30	19	119	A	
2			13	16	23	20	28	100	A
3		1	0	0	0	0	1	C	
4			16	10	16	15	6	57	B
5		X	X	3	12	1	16	C	

評

基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実するためには、子ども一人一人の特性等を十分に理解し、個に応じた指導方法や指導体制の工夫改善を図ることが求められています。

その具体的な方策の一つとして協力的な学習指導があり、その主な目的としては、児童生徒の習熟度や学習課題、興味・関心などの違いに応じた指導をすることです。

そのための方法や形態は、個別指導、グループ別指導、少人数指導、複数教員が全体に関わる指導など多様であるが、指導の目的や児童生徒の実態に応じて取り組むことが必要です。

このような中であって、西中学校においては、生徒の理解の程度に差が生じやすい英語科において少人数指導を積極的に取り入れ、よりきめ細かな指導方法を工夫され、個に応じた指導の充実を図っております。

本校の少人数指導の主な特色としては、次のような点があげられます。

- 少人数指導を行う目的を明確化し、学習指導の改善充実を目指している。
- 実施方法においては、学年ごとに少人数授業と一斉授業の割合を決め、クラスの分け方については、出席番号順や能力別に行い、より多くの目で評価できるように、各学期半ばで生徒を入れ替えている。
- 評価にあたっては、ALTがスピーキング・テストにおいて表現の能力を評価するなど、評価項目作成にも参加している。
- 定期テストは観点別に作成し、各活動を観点別に分け評価している。

少人数指導を実施した結果、ほぼ生徒全員の発言と英語での問答が可能になり、生徒にとっては「わかりやすい、おもしろい」という意見が多数を占め、英語に対する関心・意欲が高まってきたという成果が報告されています。

今後の本校における英語における少人数指導の一層の充実を期待します。